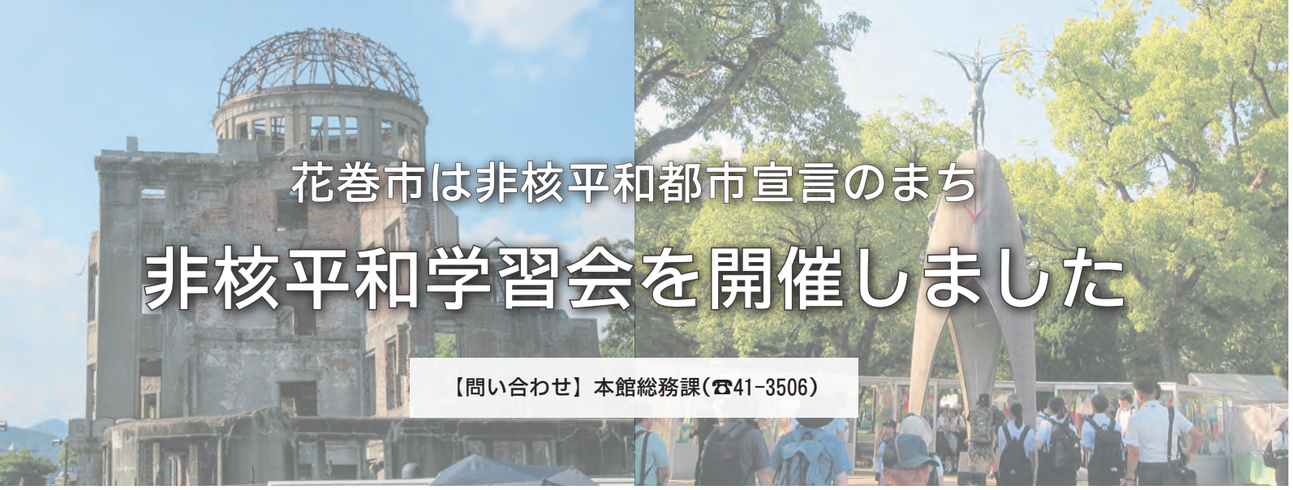


花巻市は非核平和都市宣言のまち

非核平和学習会を開催しました

【問い合わせ】本館総務課(☎41-3506)

広島、長崎への原子爆弾投下から80年以上が経過しました。当時を知る人が高齢となり、実体験を自身の言葉で伝えられる人が少なくなっています。原子爆弾が投下されたことや被爆した人がいることなどを改めて認識し、そのことを特に若い世代に伝え、核兵器や戦争がない平和な世界の実現に向けた意識の醸成を図ることが大切です。

市では、子どもたちが平和の尊さについて考え、同世代へ伝えるきっかけとするため、非核平和学習会を開催しています。本年も、8月5日・6日に平和記念式典が行われた広島市へ小学生9人を派遣しました。

学習会に参加した子どもたちが書いた感想文を紹介します。子どもたち自身が感じた原子爆弾の恐ろしさや戦争の悲惨さについて、自分たちの言葉でつづっています。この機会に、平和の尊さについて考えてみませんか。

※掲載文は、学習会に参加した児童が書いた感想文の抜粋です。全文は、市ホームページに掲載しています

非核平和学習会に参加して思ったこと



東和小学校６年
新田(にった) さつき さん

広島平和記念資料館で全身をやけどした小さな女の子の写真を見たとき、私は、「この子は戦争さえなければきっと幸せな人生を歩めていたはずなのに」と思いました。今こうやって私たちが生活している時もこの世界のどこかで戦争が起こっています。私はそれが許せないです。だから今私たちができることを率先して行いたいと思います。

資料館で色々な写真や実物を見ている最中「あなたはこれを知らないまま生きてきたの?」と耳もとでささやかれた気がしました。あの時代の戦争を経験した人は数少なくなっていきます。なので本当に一人でも多くの人にこのことを知ってほしいと思います。

戦争はこの世に必要のないものです。本当によくない事です。

たった一発の原爆で



宮野目小学校５年
阿部(あべ) 隼士(はやと) さん

自分が一番印象に残ったことは、原爆ドームでガイドさんから聞いたお話です。原爆は、原爆ドームから約4・2キロメートル離れた場所に投下され、その時の温度は3千度から4千度にまでのぼったそうです。また、その後も放射線の影響により、生きていても辛い思いをする人たちがいることを知りました。

この残酷なことが二度と起こらないようにするために、ぼくは広島県で学んだことをいろいろな人たちに伝えていきたいと思います。そしてまだ終わらない戦争をなくすためにできることを積極的に進めていきたいと思いました。

自分が大人になったら全世界が平和になって、どの国とも仲良く交流できるような世界になっていてほしいです。自分たちの国のことだけでなく、他の国の意見などを聞き、分かり合えれば、これから先の未来は戦争というものは、なくなると思います。

地域の移動手段をもっと身近に！

予約乗合交通の愛称を募集します





【問い合わせ】新館都市政策課(☎41-3554)

市では、地域の移動手段を確保するために運行している予約乗合交通について、地域の皆さんに親しみや愛着を持っていただくため、愛称を募集します。多くの応募をお待ちしています！

※入賞者には賞状や記念品を贈呈します

■募集期間　11月16日(月)～12月７日(月)

■内容　▶大迫▶石鳥谷▶東和▶西南▶花巻西部▶花巻東部ー地域それぞれの予約乗合交通の愛称

■応募資格　市内在住の人または予約乗合交通の利用登録をしている人

■応募点数　応募は１人につき１地域１点

※１人につき最大６地域６点まで応募可能

■応募にあたっての主な要件

◦運行地域をイメージした、その地域にふさわしい愛称であること
◦広い世代から親しみを持たれる愛称であること
◦未発表・未使用で独自性が感じられる愛称であること
◦個人名や団体名、商品名などを入れないこと。また、公序良俗、法令に反しない愛称であること
◦他者の知的財産権(著作権や商標権など)を侵害しない愛称であること

■応募方法　オンラインまたは任意様式に▶愛称▶愛称の説明や理由▶住所▶氏名▶年齢▶電話番号ーを記入し下記へ

■応募先　新館都市政策課(〒025-8601　花城町9-30　FAX22-6846　✉toshiseibi@city.hanamaki.iwate.jp)

便利で安心！予約乗合交通は通院や習い事の移動にも

「予約乗合交通」は、自宅付近の公道から地域内の病院や公共施設、バス停留所(指定乗降場所)までを乗り合いで移動する交通手段で、買い物や通院、習い事などに利用できます。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

■予約乗合交通のイメージ

